

製品名: Mov10 (4D14) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe14046**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:100
分子量	114kDa

抗原情報

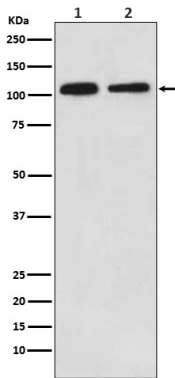
遺伝子名	MOV10
別名	gb110; MOV 10;
遺伝子 ID	4343.0
SwissProt ID	Q9HCE1
免疫原	ヒト Mov10 の合成ペプチド

背景

MOV10 は、細胞の発生や増殖の制御において重要な機能を有するヘリカーゼである可能性がある。RNA サイレンシングプロセスは、siRNA および microRNA (miRNA) と呼ばれる小さな RNA によって誘導される。これらはリボ核タンパク質複合体中に存在し、相補的な mRNA の切断を誘導したり、部分的に相補的な mRNA の安定性や翻訳に影響を与えたりする。5'から 3'への RNA ヘリカーゼは、3' UTR に沿った転座によって UPF1 mRNA 標的の分解に寄与する (PubMed:24726324)。RNA 誘導サイレンシング複合体 (RISC) による microRNA (miRNA) を介した遺伝子サイレンシングに必須である。miRNA を介した翻訳抑制と RISC による相補的な mRNA の切断の両方に必要である (PubMed:16289642, PubMed:17507929, PubMed:22791714)。FMR1 と連携して、AGO2 による miRNA を介した翻訳抑制を制御する (PubMed:25464849)。TUT4 および TUT7 と連携して、長鎖散在配列 1 (LINE-1) のレトロトランスポジションを抑制し、L1RE1 の RNA シャペロン活性を阻害する (PubMed:30122351, PubMed:23093941)。TUT4 および TUT7 による LINE-1 のウリジル化を促進する (PubMed:30122351)。胚の生存および正常な中枢神経系の発達と機能に必要である。初期脳発達において 2 つの重要な役割を果たす。cDNA 合成を直接阻害することで核内のレトロエレメントを抑制する一方、細胞骨格 mRNA を調節して細胞質における神経突起の伸展に影響を与える (類似性による)。メッセンジャーリボ核タンパク質 (mRNP) クリアランス因子として機能する可能性がある (PubMed:24726324)。デングウイルス (DENV) に対して抗ウイルス活性を示す (PubMed:27974568)。

研究分野

画像データ



(1) 293 細胞溶解物、(2) NIH/3T3 細胞溶解物における Mov10 発現のウエスタンブロット解析。